

輝き続ける九谷焼の伝統

11月11日に那谷寺の金堂華王殿をニッポンたからものプロジェクトが開きされました。小松市は2300年前から宝石・鉱石・石材・陶石などが採掘され石と共に生きてきた町だ。そのため小松市では石の文化に関する九谷焼のことや落語や民謡や日本びようなどが公演された。



るそらだ。そしてその
デザインは色んな伝統
技法をうけつぎとても
アートせいをおびてい
た。これからもそんな
九谷焼が続いてほしい。

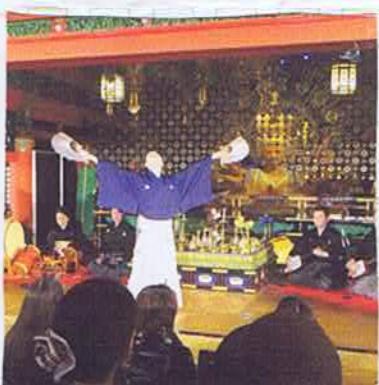
う石だ。
二ヶ月前からもの
プロジェクトでは美し
い峡谷焼の作品も見ら
れた。外国に持つてい
た作品やカブトムシ
の作品をみるとお客さ

約三六〇年という長い歴史をほこっている。九谷焼の始まりは一六五五年ごろに色絵磁器が焼かれたことが始まりだ。そんな長い歴史がある九谷焼を支えているのが小松市の坂町で探くつされるところの中でも九谷焼は

美しい文化

2018年 12月 3日

発行者
那谷小学校
6年生



た様子だ。た、花柳源
九郎さんは「日本舞踊
は江戸時代のふソツけ
をそのままやつても現
代には通じないので、
自分自身のいきさまで、
足りりに表現してます。

伝統
てへるところを華麗に
堂堂と美しく表現して
いた。
観客は、心を奪われ
ようこそ、感動して、

伝わる 伝統

那谷寺の見所



編集後記

「さたいと話されて
いた。私たちも、この町
の宝である那谷寺をた
くさん的人に知ってもら
り、良い良さを知らせる
活動をしていきたいの
だ。ぜひ那谷寺へ来て
みてください。

今回のカラフルライ
ズで公演してくださいさ。
た人達はみなさんに自
分達がうけついだ伝統
芸能を知ってもらおう事